

ぜん こく がっ こう きゅうしょくしゅう かん
1月24日～30日は、全国学校給食週間です！

日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町(現:鶴岡市)の私立忠愛小学校で提供したのが始まりとされています。その後、各地に広まったものの、戦争による食料不足で中断されてしまいました。

戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体「LARA(アジア救済公認団体)」から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。

昭和21年12月24日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和25年度からは、冬季休業と重ならない1月24日～30日までの1週間を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

全国学校給食週間を通して、学校給食の意義や役割などを皆さんに知ってもらい、学校給食についてあらためて考える機会にしたいと思います。



学校給食の移り変わりをみましょう！

めい じ ねん 明治22年	せん ご しょうわ ねんだい 戦後(昭和20～30年代)	げん ざい 現在
し りつちゅうあいしやうがっこう 私立忠愛小学校で 提供されたとされ る給食。	し えんぶつ し だつ しふんにゅう 支援物資の脱脂粉乳 や缶詰、小麦粉など をつか きゅうしょく を使った給食。	ち いき しゅん しょくざい と い 地域でとれる旬の食材を取り入 れ、郷土料理や行事食、世界の料 理など、食育の教材となる給食。

はん しん あわ じ だいしん さい ねん
阪神・淡路大震災から30年

災害時の食の備え



★非常食・日常食品・持ち歩き用品の3つを備えておきましょう。水と熱源は必需品です。

そのまま食べられる 非常食 アルファ化米、缶詰、レトルト食品、菓子類など	ローリングストックで備える 日常食品 お米、乾麺、乾物、日持ちのする野菜・果物、調味料など	外出時の 持ち歩き用品 飲料水、チョコレート・あめなどの菓子
---	--	---

みず ちょうりょう よう ぶく ひとり
 水は調理用も含めて1人
 にち ひつよう
 1日3リットル必要とされ
 ています。できれば1週間
 ぶんそな あんしん
 分備えておくと安心です。



カセットコンロとボンベがあれば、温かい料理を食べることができます。あらかじめ使い方を確認しておきましょう。